

災 救 通 信



第 26 号
令和4年 12月 発行
天理教災害救援ひのきしん隊
北海道教区隊

新隊長就任あいさつ

この度、前隊長奥村教区長先生よりご推薦を頂き、新隊長の御命をお受けすることになりました三幣敦志と申します。

本年4月より就任してより早くも8カ月が経ちました。

道内でも、多くの災害が発生した中、大きな被害にはならず、教区災救隊が出動することはない、ご守護頂いている現状です。

しかしながら、昨今、道内でも地震が頻繁に起こり、政府の発表では30年以内に北海道巨大地震が起きる確率を40%と推計しています。4年前の9月、胆振東部地震で起きた甚大な被災、そして全道の「ブラックアウト」。更には、毎年のような豪雨・豪雪災害。震災はとても身近になっております。こうした状況から、災救隊の担う役割は、大変重要であると感じております。奥村前隊長が築いて下さいました社会福祉協議会との連携、また、歴代隊長が紡いで下さいました各支部と

の緊密なチームワークを受け継ぎ、巨大地震に備え、どのように対応していくか、そして、何より「大難を小難、小難を無難に」ご守護いただくために「信仰力の強化」を志し、全道の隊員の皆さまと共に、日々の活動を通じ地域に根差したひのきしんの推進を一手一つに取り組んでまいりたいと存じます。

いよいよ来年1月から始まる教祖140年祭三年千日。

災救隊員として、そして、何よりようぼくの一人として、おやさまにお喜び頂けるたすけ一条の道を、諭達第四号を心の指針とし、一手一つに励んでまいりたいと存じます。

どうぞ、今後とも教区災救隊へ変わらぬご尽力賜りますようお願い申し上げます。



みぬさ あつし
三幣 敦志

S53・7・27生

直属：網走

所属：勇走

支部：千恵広

各支部隊巡回報告

～支部隊長紹介～

○南空知支部隊長（左側）



富山 知一

S55生

直属：夕張

所属：栗山

新隊長コメント；

災救隊の活動を通して、一人の人の笑顔、助かる姿を経験して、自分の成人の糧とし、活動をつとめさせて頂きたいです。
皆さまの協力あってできるものと思いますので、どうぞ宜しくお願い致します。

○北見支部隊長（右側）



佐藤 晴

S49生

直属：秦野

所属：北津

備考；津別町社会福祉

協議会へ訪問。

○室蘭支部隊長（前列真ん中）



加藤 三夫

S33生

直属：秩父

所属：辨邊

備考；旧大岸分教会解体作業視察時に撮影。

○上川支部隊長（右側）



柴田 正慶

S51生

直属：名古屋

所属：北旭道

新隊長コメント；

本年度4月より上川支部災救隊長を拝任致しました。

諭達第4号にも記されています通り、私たちの心の入れ替えを促される親神様の親心から、世界各地で自然災害の節をお見せ頂いております。教会長として、人々が互い立て合い助け合う陽気ぐらしの世の状へ、建て替わりを願う事はもとより、起きた災害で悩み苦しむ方々に対しても、少しでもお役に立てるよう精一杯務めさせていただきます。どうぞ宜しくお願い致します。

○函館支部隊長（右側）



笹田 信行

S55生

直属：洲本

所属：巴港

備考；函館市社会福祉協議会に訪問

新隊長コメント；

抱負といたしまして、常に安全に作業を行い、怪我、事故の無いように務めさせて頂きたいと思っております。

また、被災地へと赴く事があれば、語らずとも「一手一つ、互い立て合い・たすけ合い」を被災された方々に伝わるよう心がけて務めさせて頂く所存でございます。

どうぞ宜しくお願いします。

宣誓！

我々は天理教災害救援ひのきしん隊員であります。一列兄弟の自覚に立ち、真実をもって救援活動に当たります。